

府立槻の木高等学校

【学校力の向上】

- ・学校経営ビジョンの明確化、進捗状況の共有、教職員の協働体制の推進、研修の充実等については「教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている」(教職員)は72%(昨年84%)、「事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている」(教職員)は76%(昨年88%)、「教育活動について、教職員で日常的に話し合っている」(教職員)は89%(昨年91%)、「教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている」(教職員)は77%(昨年91%)等、昨年、改善された数値が一昨年度の値に戻っており、早急に教職員への働きかけが必要である。
- ・「充実した学校生活を過ごしている」は生徒80%(昨年88%)、保護者78%(昨年88%)で、ともに低下している。新型コロナウイルス感染症により様々な制約が加わり、学校生活への満足度は下がっていると思われる。生徒の安全を確保しながらできることを工夫して進め、生徒、保護者の期待に応えることのできる体制を整える。
- ・「先生は責任をもって授業やその他の仕事に当たっている」は生徒91%(昨年88%)で、若干だが上昇した。
- ・今後も教職員の協働体制を推進し、教育活動の活性化と学校力の向上を図っていく。

なるのではないだろうか。

- ・令和2年度は国公立大現役合格者が前年度より大幅に増加した点は評価できる。質の高い面談は効果が高いと思うので、継続してほしい。
- ・志、規範、自尊感情、人権意識は個人・集団ともに必要である。学校生活全般にわたり構造化をはかり、効果的に身につけるようにして頂くと良い。
- ・コロナ禍のなかで教育の在り方がどのように問われたのかをいつかまとめて議論したい。

【第2回10月30日】

新型コロナウイルス感染症に係る「緊急事態宣言」が9月30日で解除されたので、対面で実施。「令和3年度学校経営計画の進捗状況」について審議。あわせて、「令和3年度授業アンケート(前期)集計結果」「GIGAスクール構想の本校の状況」「観点別評価」について報告した。

《委員からの意見》

- ・これからの普通科高校には、スクールミッションが必要。本校はグラデーションポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーともにはっきりしている。しかし、入学志願者があまり増えていない。ミッションがかっちりしている学校で志願倍率が厳しいというのは、非常に対応が難しい。それについてどう考えているか。
→志願者数が減った要因の一つには、大阪府下全域で中学生が大きく減り、学校によっては1クラス減しているところもある。本校は募集学級減をしておらず、志願倍率が減少したが、入学後の生徒の意欲や意識、学力については変化がなく、ポリシーがしっかりしているので、倍率がどうであれ、本校に来たい生徒が入学してくれたと分析している。
- ・英語の授業への評価が高いが理由は何か。
→毎週、週テストを実施するなど、課題等を適切に出すことにより、生徒も意識を持って取り組み、満足度が上がっているとみている。また、ICT機器を活用するとともに、対話形式の授業展開が多く、生徒同士のコミュニケーションをとれることも満足感が上がる要因かと思われる。
- ・1人1台端末の運用について、課題は何か。
→W i - F i 接続が課題。先日も電波を取れない端末が複数出てきた。全て予定通りに進行したこと
はまだない。安定的な接続の確保が課題。
- ・学校行事のあり方について、「生徒たちに何かをさしてやりたい」ということを追求していくということが大切。やめるのは簡単で、教員、学校が努力して何とか実現していこうというその姿勢を大切にしてほしい。
- ・子どもたちの心のケアについて学校全体一丸となってやっているというのは非常に良い。
- ・ネクストステージで、海外との交流ができなくなっているのは非常に残念。英語のレベルをあげていくことはこれからの社会では一層必要になってくると思う。さらに力を入れていって欲しい。
- ・礼儀作法や言葉遣いの指導についても力を入れてほしい。コロナの状況で難しいところはあると思うが、お互いに気配りのできるように、人を思いやる、そういう心遣いができる教育機会を設けるとよいと思う。

【第3回2月4日】

新型コロナウイルス感染症に係る「まん延防止等重点措置」期間であったが、感染防止対策を十分にとり、対面で実施。

「令和3年度学校経営計画の達成状況」、「令和4年度学校経営計画の計画案」について審議し、「高校進学に関する調査結果」、「令和3年度授業アンケート(後期)集計結果」、「令和3年度学校教育自己診断結果」について報告した。審議事項の2議案ともに承認を得た。

《委員からの意見》

- ・教員の研修に対する要望を聞くべき。
- ・満足度に関しては生徒、保護者の期待値が高いのではないかと。
- ・施設、設備などのハード面の早急な充実を求めたい。
- ・教員のマネジメントと働き方改革、人員補充について。
- ・協議会から府教委に「学校だけでは解決できない問題」についての提言をしていくべき。
- ・計画承認のためには資料の事前配付を求める。
- ・学校運営協議委員と代表生徒との意見交流、懇談会を実施したい。
- ・コロナ感染症対策は評価できる。
- ・生徒の授業に対する満足度と教員の業務負担は反比例する。
- ・教員間のコミュニケーションについてはコロナ禍で変化している。
- ・遅刻の原因についてどのように分析しているか。
- ・生徒の遅刻は保護者の努力で改善できないのか。
- ・コロナ感染症の影響で、生徒の集団としての規範意識が薄まっている。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標【R2年度値】	自己評価
1 学力の向上と規範意識、自尊感情の醸成	<p>(1) 学力及び学びに向かう力のさらなる向上と進路実現</p> <p>(2) 高い志の育成と規範意識、自尊感情、人権意識の高揚</p> <p>(3) グローバル人材の育成</p>	<p>(1)</p> <p>ア・新学習指導要領を踏まえて、生きて働く「知識・技術」の習得、未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の向上のため、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざして授業改善を進める。</p> <p>・生徒1人1台端末の導入に向け、教育実践での効果的なICTの活用に係る研究を進める。</p> <p>・新学習指導要領に係る適切な教育課程の編成・実施、観点別学習状況の評価の研究を行う。</p> <p>・生徒の学力を、学力生活実態調査等で分析し、生徒面談の充実を図る等して、進路実現を支援する。</p> <p>・キャリアパスポートを活用して職業観、勤労観育成のための取組を行うとともに、校内での進路別説明会を行う等して進路指導の充実を図る。</p> <p>イ・自学する意義の理解、課題、予習、復習等による学習時間の維持とその定着を図る。</p> <p>・学校図書館の更なる活用等を通じて読書習慣や自習習慣の定着を図る。</p> <p>ウ・「槻の木NEXT STAGE」の取組を継続し、企業、大学、地域と連携した体験・発表型進路学習を行う。</p> <p>(2)</p> <p>ア・遅刻防止週間を設定する等遅刻指導を充実し、遅刻数の府内最少レベルをめざす。</p> <p>・生徒の安全確保のため、自転車指導等の交通安全週間を設け、指導の充実を図る。</p> <p>・学校美化や教室清掃を習慣とし、学びの場としての学習環境整備に努める。</p> <p>・生徒1人1台端末の導入に向けたルール作りを行うと共に、情報リテラシーを育成する。</p> <p>イ・保健課を中心に関係教員が情報を共有し、スクールカウンセラーや関係機関との連携を推進して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行う。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症に係る対応を継続すると共に、安全で安心な学校づくりを推進する。</p> <p>(3)</p> <p>・「槻の木 NEXT STAGE」の一環として国際交流に取組む等、国際的な視野を育て、使える英語力の向上を図る。</p> <p>・学校行事、生徒会活動、部活動、「槻の木 NEXT STAGE」等の取組により、主体性、自尊感情、人間関係調整力を育てる。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・学校教育自己診断(生徒)で「カリキュラムに係る満足度」85%以上を維持。【89%】</p> <p>・学校教育自己診断(生徒)で「授業満足度」を80%以上にする。【76%】</p> <p>・学校教育自己診断(生徒)における「授業で自分の考えをまとめた発表する機会がある」を86%にする。【84%】</p> <p>・学習指導室(進路、教務)、学年、教科が協力して、進路実現を支援する。</p> <p>・国公立大学現役合格16%以上。【10%】</p> <p>・面談回数年間総数2160回以上を維持。【約2400回】</p> <p>・学校教育自己診断(生徒)で「進路について考える機会がある」90%以上を維持。【91%】</p> <p>イ・一日平均学習時間2年(10月)、平日・休日平均110分以上。【107分】</p> <p>ウ・参加生徒の満足度90%以上を維持。【-】</p> <p>(2)</p> <p>ア・年間遅刻者数650人以下。【953人】</p> <p>・学校教育自己診断(生徒)で「規律を守った生活を送っている」94%以上。【94%】</p> <p>イ・保健課を中心とした適切な教育相談体制による支援の継続。</p> <p>・教職員研修を、人権意識の向上、教育相談活動の充実について各々実施する。</p> <p>(3)</p> <p>・新型コロナウイルス感染症に係る対応に配慮し、生徒の主体性を育む学校行事、国際交流を企画、実施する。</p> <p>・参加生徒の満足度90%以上。</p> <p>・学校教育自己診断(生徒)で「学校行事に係る肯定的回答」85%以上を維持。【85%】</p>	<p>(1)</p> <p>ア・学校教育自己診断(生徒)で「カリキュラムに係る満足度」は90%。(○)</p> <p>・学校教育自己診断(生徒)で「授業満足度」は82%。(○)</p> <p>・学校教育自己診断(生徒)で「授業で自分の考えをまとめた発表する機会がある」は87%。(○)</p> <p>・カリキュラムマネジメント推進のためのプロジェクトチームを中心に新カリキュラムの編成に取り組み、完成させた。府教育課程協議会の説明動画を全員が受講し、授業改善を進めると共に、観点別学習状況評価の仮実施を行い、完全実施に向けての準備を進めた。(◎)</p> <p>・学習指導室と学年が協力し、学習状況の評価と共に、学力生活実態調査、学力テスト等を実施、分析。授業等の現状を含めて関係教員で協議、個別指導し、進路実現を支援。(◎)</p> <p>・喋りサポート(国公立大学希望者への面談指導)を一人当たり年間5回実施。国公立大学現役合格者は15%。(○)</p> <p>・学習状況、科目選択等の個別相談と共に、キャリアパスポートを活用し、進路実現に向けた生徒面談を約2400回(1・2年各720回、3年960回)実施。(◎)</p> <p>・学校教育自己診断(生徒)「進路について考える機会がある」は95%であった。(◎)</p> <p>イ・学習習慣定着のため、週末課題(1・2年英数国)、週テスト(2年英語)、毎日の学習計画表の提出、自習室の管理運営等を実施し、家庭学習時間は2年生10月で108分。(△)</p> <p>・後期土曜講習、学力テスト3回、一日勉強会7回を実施。</p> <p>ウ・「槻の木NEXT STAGE」大阪府立大学を訪問し、大学生によるキャンパス案内や講義の聴講により、大学を知る良い機会になった。学習に対する意欲向上も大いに見られ、満足度は100%だった。(◎)</p> <p>(2)</p> <p>ア・入室許可証を用いた遅刻指導、遅刻防止キャンペーンを実施したが、遅刻者数は1285人。(△)</p> <p>・年間2回の通学用自転車の整備チェック、交通安全指導を実施。</p> <p>・学校教育自己診断(生徒)で「規律を守った生活を送っている」は96%。(○)</p> <p>・PTA、生徒、教職員が合同で校内での花苗植えを実施。</p> <p>イ・保健課を中心として、教育相談の充実のため、担任会等から生徒情報を共有し必要に応じてスクールカウンセラー(SC)との連携を図ると共に相談室の活用を推進。(◎)</p> <p>・SCによる職員研修「子供と自死をめぐる現状」、専門家による職員救急救命AED・エビベン研修を実施。(○)</p> <p>・担任、教科担当者等が情報を共有し、SCや関係機関とも連携した個別の支援を行うために、配慮を要する生徒の支援会議を年間2回実施。(○)</p> <p>(3)</p> <p>・台湾のYang Ming Senior High Schoolの高校生とのPen Pal交流やWeb交流を実施した。参加生徒満足度は100%。(◎)</p> <p>・学校行事等に生徒が自主的・協力的に活動できるよう各学年を中心に指導し、修学旅行では90%が「満足」と回答。(○)</p> <p>・学校教育自己診断(生徒)で「学校行事に係る肯定的回答」は83%。(△)</p>
2 先進的で他をリードする学校づくり	<p>(1) 強い組織力による学校力の向上</p> <p>(2) 組織的な協働体制による学校運営の確立</p>	<p>(1)</p> <p>ア・教科会を定期的に開催して教科研修を行い、授業力の向上を図る。</p> <p>・教員相互授業見学、教員研修を行う。</p> <p>・授業アンケート結果を効果的に活用し、授業改善に取り組む。</p> <p>イ・積極的な府教育センター等の研修への参加と伝達研修、教職員研修、経験年数の少ない教員へのスキルアップ研修等により、人権意識の向上、教育力の向上と活性化を図る。</p> <p>・日常的なOJTの推進に努め、経験年数の少ない教職員の育成体制の充実を図る。</p> <p>・カウンセリングマインドのある生徒指導を推進する。</p> <p>(2)</p> <p>ア・効果的・効率的な協働体制の確立のため、OJTの推進、業務の見える化、業務分担の見直しを継続する。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症を含め、あらゆる危機管理事案に対処できる組織体制を構築する。</p> <p>・全校一斉休日及びノークラブデー等による働き方改革を推進する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・教員相互の授業見学、授業アンケート結果を踏まえた教科会での協議を全教科で年間2回実施。</p> <p>イ・伝達研修、教職員研修の実施。</p> <p>・学校教育自己診断(教職員)で、「研修内容に係る肯定的回答」85%以上。【88%】</p> <p>・学校教育自己診断(生徒)で、「生徒指導に係る肯定的回答」85%以上を維持。【85%】</p> <p>(2)</p> <p>ア・学校教育自己診断(教職員)で、「教職員間の相互理解についての肯定的回答」85%以上を維持する。【91%】</p>	<p>(1)</p> <p>ア・全教科前後期2回の研究授業・研究協議を実施、総括や授業アンケート結果を共有する等、授業力の向上に努めた。前期88.9%、後期89.1%の生徒が授業に対し肯定的な評価をした。(◎)</p> <p>・学校教育自己診断(教職員)で、「参加体験型学習など指導方法の工夫・改善」は76%(R2:82%)、「グループ学習など学習形態の工夫・改善」は96%(R2:91%)。(○)</p> <p>イ・1人1台端末活用研修、オンライン授業・ICT機器や関連ツール活用職員研修を実施。(◎)</p> <p>・人権(同和問題)に係る伝達研修を実施。(○)</p> <p>・学校教育自己診断(教職員)で、「研修内容に係る肯定的回答」は77%。(△) 研修のあり方や内容について、課題の洗い出しと改善策を講じる必要がある。</p> <p>・関係教員での生徒指導に係る意見交換に努め、学校教育自己診断(生徒)「生徒指導に係る肯定的回答」は85%。(○)</p> <p>(2)</p> <p>ア・今年度、オンライン授業、生徒1人1台端末の導入に向けた業務をプロジェクトチームで行ったが、令和4年度は学校運営室に新たに情報課を設置し、対応する。(◎)</p> <p>・学校教育自己診断(教職員)で、「教職員間の相互理解についての肯定的回答」は77%であった。(△) 教員間のコミュニケーションを活性化させるとともに、同僚性が自然と発揮される環境を構築する必要がある。</p>

府立槻の木高等学校

3 保護者・地域から信頼される 学校づくり	<p>(1) 子どもが「入りたい」「入ってよかった」、保護者が「子どもを入れたい」「入れてよかった」学校づくりの推進</p> <p>(2) 保護者・地域との信頼関係の向上</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業公開、体育大会、文化祭、個人面談、進路説明会、PTA活動等を通じ、保護者の信頼をさらに得るよう努める。 ・施設設備の改善に努め、学習環境の充実を図る。 ・創立20周年(令和4年度)に向けて、学校教育自己診断結果等を踏まえ、保護者や地域社会から期待され信頼される学校づくり、将来構想について研究を進める。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育活動の全般について、本校生徒・保護者、中学校、中学生・保護者、地域に発信し、信頼にたる学校づくりを推進する。 ・ホームページの充実、メールマガジンの発信などにより、学校教育活動への理解と信頼を促す。 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断「入って(入れて)よかった」生徒78%以上。【78%】、保護者90%以上。【91%】 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの適宜更新。 ・メールマガジンのタイムリーな発信。 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断「入って(入れて)よかった」は、生徒81%(○)、保護者78%(△)であった。 ・感染症対策のため、保護者や地域住民等の参加なしで、体育実技発表、学年別文化発表を実施した。 ・授業のみならず、修学旅行、学年行事、部活動等の全ての教育活動で感染症対策に万全を期した。 ・保護者懇談は年間2回(7月・10月)、全学年進路説明会も実施。2年生修学旅行説明会はオンデマンドにて実施。 ・PTA活動は制限が多かったが、PTA新聞は予定通り3回発行。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内での学校説明会は8回、1回につき午前・午後の2部制で実施。人数制限を設け、ホームページで事前予約を受け付けた。(○) ・ホームページのトップページ掲載更新は35回。後期より開始した校長だよりの掲載更新は48回(1月15日現在)(◎) ・メールマガジンは、毎週金曜日の定期連絡を30回(1月15日現在)、長期休業中等の緊急連絡を53回発信。(◎)
-----------------------------	---	--	---	--